

「市長と語る会」回答の対応状況等(平成29年度)

平成31年3月

No	意見要望等	担当課	状況	理由等
2月28日 ⑤	ボランティアで高齢者の部屋の清掃・片付けを行ったときに、飲みかけの処方薬が大量にあって驚いたが、薬を管理する人が必要と思う。	高齢者支援課	進行中	<p>薬に関しては、薬剤師や訪問看護師による薬の管理が行われております。</p> <p>また、高齢者で介護保険サービスを利用されている方は、ケアマネジャーが判断し、高齢者と話し合いながら必要なサービスを導入しております。</p> <p>なお、ケアマネジャーのいらっしゃらない方は、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師に薬に関しての相談をしていただくこととなります。</p> <p>市では、薬の管理等に関して薬の相談を実施しているほか、在宅療養市民講演会や家族介護者教室の中で取り上げ、市民に広く普及啓発を行っております。</p>
2月28日 ⑥	認知症に関する情報交換を行う場が必要と感じる。	高齢者支援課	進行中	<p>認知症に関する情報交換の場として、地域包括支援センターで開催している家族介護者教室や、自主的に開催されているサロンがあります。これらについては、今後も広報「ふちゅう」や認知症あんしんガイド等を通じて周知を図るとともに、サロンの立ち上げについても社会福祉協議会を通じて支援してまいります。</p>
3月1日 ⑤	介護職カフェという介護職のモチベーションを上げるための活動を行っているが、活動の拠点をお借りできたらと思う。東京都で認知症介護の研修を行っているが、申込みが多いため抽せんとなってしまう、なかなか受講できないので、市独自でできないか。認知症サポーターが増えているが、フォローアップできたらよいと思う。	介護保険課 高齢者支援課	一部実施済み	<p>市内介護事業所のうち、居宅介護支援事業所や通所介護事業所、リハビリ系事業所については、同じ業種の介護職員による、定期的な情報交換会が開催されており、必要に応じて市がサポートしています。</p> <p>また、認知症サポーターについては、ステップアップのための講座を実施し、地域での活動の場が広がる取組について、検討を行ってまいります。</p>